



岡崎会長あいさつ

若き経営者の会は今年で33年という永きにわたり、独自のスタンスで継続されてきたすばらしい集まりといえます。どこへも属さず、これほど永きに会を継続されてきた先輩方に頭の下がる思いです。今期スローガンを“感謝”サブタイトル“お蔭様というココロ”とさせていただきます。自分への戒めを含め、このスローガンとさせていただきます。今自分があることに感謝、これまで関わった全ての人、モノに感謝。今の自分は‘蔭’となり支えてくれているなにかがあるからこそであります。特に我々中小企業経営者はお蔭様という謙虚な姿勢・ココロが必要です。

当会会員のある事業所に“安心と慢心は紙一重”という言葉が飾ってあります。これもまた同じような意味を持つと思います。企業も継続させていくことが重要でまた最も難しいことでもあります。欺くこと騙すことなく、常に謙虚なココロを持ち続けなければ何事も継続は困難と考えます。前置きが長くなりましたが、今期各部の副部長は初めて役員となっていた方ばかりです。入会されて間もない方もいらっします。自分もそうでしたが、役員となり役員会に出席してはじめて会の流れがわかるようになり、会に愛着がもてるようになります。

今期も半年が終わり後半にさしかかりましたが、お蔭様で、今期は今までにない新しい発想での事業も組み込まれています。会の運営、毎月の例会、春にはじまった家族会、夏の小野湖ボート大会に参加しての国際交流等々が行われてきました。特に今年は六月の湯田温泉における一泊研修で山口の若き経営者の会と交流をし、その後の例会においてもオブザーバーで宇部に来ていただき交流を持ち続けられています。今後の事業においてもいい流れを保ち続けられることを期待しています。

私自身のこととなりますと、会長という立場はやはり非常に大変で、歴代会長をされてこられた先輩方に尊敬のココロをいっそう強く持っているところであります。最後になりますが、日頃より若き経営者の会の活動にご理解・ご協力をいただいております関係諸団体・行政各位・OB会会員の諸先輩方また会員ご家族の皆様、今後ともよりいっそうのご助言・ご鞭撻をいただきますよう、宜しく願い申し上げます。



5月講師例会

5月例会は昨年に引き続き参議院議員の林芳正先生をお招きして「国政近況報告」をしていただきました。5月時点での自民党総裁戦の行方や、外交の諸問題、LD事件等の講演をしていただきました。政治への関心の高さからOB、会員と多数の出席があり盛大な例会となりました。

その後の懇親会にも林先生に来ていただきました。先生自ら各テーブルを回られ、気さくに声をかけていただき、個々の質問に対して熱心にお答えをいただきました。

文化部 茂山

今年度、文化部長の役をもらい早くも折り返しの半年が、過ぎていきます。そう言えばこの会に、入会して五年目になり、最初に所属した部も文化部でした。入会した時は、何がなんだか判らない状態のまま手伝いをしていた時を思い出します。今では、部長の役をもらい部員の対場から、部員をまとめる立場になりました。何回やっても慣れないものです。

文化部の今年の事業は、家族のふれあいを大切にしてい、事業作りを第一に考えて、4月春の家族会、10月秋の家族会、12月クリスマス会、2月奥様懇親会と担当例会を、して行くことになりました。しかし、最初の4月家族会では、呼びかけが足りず、会員の参加人数が、集まらなかったのが、今でも残念です。事業をやることだけに気を取られてしまい会員を、1人でも参加させる事に欠けていました。その後部会で、話し合い一人で動くことしか、考えていない自分が見えてきて、文化部全員で動く事に、欠けていた事が残念で仕方ないです。小さな事でも、皆で動く部にして行きたいと思えます。事業も年末にかけて企画していますので、皆さんも時間を作って、参加してください。

一泊研修

木田 英二

本年度の一泊研修は、六月三・四日に防長苑(山口市湯田)で山口若き経営者との合同研修会を行いました。参加者は、若経二十二名、山若経十四名、参加して頂きおおいに盛り上がる事が出来ました。

合同研修会も、集合時間に参加者が集まって下さったお陰でスムーズに合同研修会が行われました。山若経に若経を知ってもらおうと思ひ、部単位でのプレゼンテーション、題を若き経営者の会に関する事を各部、発表して頂き、若経も所属部以外の事も知ることが出来たと思ひます。名刺交換も終わり懇親会に入りました。アトラクションは風船割りゲームと座布団取りゲームで盛り上がりすぎるぐらい盛り上がりました。会員の違う一面が見れたんじゃないでしょうか？

何点かは反省点が御座いましたが、若経と山若経との合同研修会、懇親会を通じてしっかりと親睦、交流が深める事が出来ました。ありがとうございました。

